

平成29年度 第6学年 授業改善推進プラン

教科	1学期に実施した課題と工夫	課題を受けた今後の改善策
国語	<p>【課題】</p> <p>★目的や意図に応じ、自分の考えたことや伝えたいことなどを的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたり、計画的に話し合ったりできる力を身に付けさせたい。</p> <p>【工夫】</p> <p>☆的確に話す能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて的確に話すために、話形を活用して話の構成や内容を明確にさせた。 <p>☆相手の意図をつかみながら聞く能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し手の意図を考えながら、話の中心や構成や内容について、メモを取りながら注意して聞かせた。 <p>☆計画的に話し合う能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 考えたことや伝えたいことについて、十分に話し合うことができるよう、ワークシートを用いて個人やグループで計画を考えさせた。 	<p>C ことばの吟味</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が取り上げた事柄について十分調べたり、考えたりして十分に理解させ、自分の考えたことや伝えたいこと、言葉遣いを一層的確にさせる。 <p>E 相互の学び合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し手の意図を考えながら、話の中心、構成の他に内容上の工夫や適切な言葉遣いについてもメモを取らせながら、注意して聞かせる。 計画的に話し合うために、司会や提案などの役割を各自に理解させ、それぞれの役割に応じて協力し合いながら円滑に運営できるようにさせる。
社会	<p>【課題】</p> <p>★社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味をより広い視野から考える力や調べたことや考えたことを表現する力を育てたい。</p> <p>【工夫】</p> <p>☆具体的な調査活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査する観点を示し、パソコンなどの機器を活用し、調査を行わせた。 <p>☆基礎的資料の効果的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会的事象を具体的にとらえるために地図帳や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を活用させた。 <p>☆表現する力</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会的事象について調査したり、基礎的資料を活用したりして調べたことを自分の言葉や表現方法で表現させた。 	<p>D 補助資料の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習問題に即して、自分で計画を立てさせ、具体的に調査したり、地図帳や年表などの各種の基礎的資料を活用したりして調べさせる。 <p>E 相互での学び合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会的事象について、さらに広い視野から考えたことを、具体的な調査活動に基づいた根拠や解釈を示しながら、自分自身で書いた図や文章などを用いて表現し、説明させる。
算数	<p>【課題】</p> <p>★自分の考えを深めたり、確かめたりするために意見交換ができる言語力を身に付けさせたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達の考えに関心をもち、よりよい方法で考えを練り上げる話し合いができるように支援する。 <p>【工夫】</p> <p>☆相互の学び合いと手立て・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な考え方ができる課題を設定し、図・式・言葉を用いて説明できるように、解決方法を各自に考えさせた。 助言や丸付け等の即時評価によって、児童の学習への支援を工夫した。 	<p>E 相互の学び合いと手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活と関わる問題を用意したり、生活の中で生かせる場面を作ったり、発言しやすいように生活と結び付いた問題に取り組ませる。 全体で練り上げる前段階として、(友達の考えの確認や更なる解決方法の発見等については)場面に応じて人数を変えるなど、グループ活動は多様な形態を用いる。 ただ発表してメモを取らせるのではなく、分からないことは質問させる等、一歩踏み込んだ指導の工夫をする。 <p>D 補助資料の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書などICTを活用する。
理科	<p>【課題】</p> <p>★問題解決の過程において、科学的な言葉や概念を使用して、自分の考えを表現させたい。</p> <p>【工夫】</p> <p>☆予想や仮説を立てる場面</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題に対する考えを記述させたり、児童相互の話し合いを適宜行うことにより、条件に着目させたり、視点を明確にさせたりして、自分の考えを顕在化させた。 <p>☆考察し、まとめる場面</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察、実験の結果を表やグラフに整理し、予想や仮説と関係づけながら、考察を言語化し、表現させた。 	<p>C 言葉の吟味</p> <ul style="list-style-type: none"> 「もしも…」と仮定法を用いて結果を予想させることで、条件を焦点化させ、計画的に追究する力を身に付けさせる。 <p>D 補助資料の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート等に明らかにしたい実験方法を記述させ、その妥当性について他者と討論させることで、条件制御の必要性を理解させる。
体育	<p>【課題】</p> <p>★それぞれの運動の動きの言語化やポイントの焦点化を行い、友達同士で情報を共有することで、技能の向上を図りたい。</p> <p>【工夫】</p> <p>☆動きの言語化</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真や映像などの適切な情報を元に自身の動きや運動技能のコツを言語で表現させた。 <p>☆情報の発信と共有化</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習カードを活用したり、振り返りの時間を確保したりして、互いの動きを見合い友達の課題にあった助言や賞賛、励ましの言葉を伝えさせた。 	<p>E 相互での学び合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 自身の動きや運動のコツ、助言する際の適切な言葉の情報を蓄積して、学級・学年全体で共有させる。 <p>F 評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習カードを直接掲示したり、専用の掲示板を用意したりして、互いの動きを見合い、友達の課題にあった助言や賞賛、励ましの言葉を伝えさせる。